

教員養成課程の履修について〈教育学部〉

① 教員養成課程について

教育学部教育学科には、幼稚園教諭一種、小学校教諭一種、中学校教諭一種(英語)の教員免許取得を目的とした教員養成課程が設けられている。教員を志望する者は、教育職員免許法及び本学が定める所定の単位履修のみを考えるのではなく、各科目の成績が優秀であるようにすること、将来教員となる人間としてふさわしい言動や態度を心がけ、高度の良識と豊かな教養を身につけるよう努力することが必要である。

また、教員免許状の取得に至るまでに、教員の社会的責務の重要性から、学部が定める所定の申し込みや説明会の出席など様々な手続きが必要となっている。1年次から計画的に履修するよう、特に注意すること。2年次の「進路ガイダンス(4月)」に必ず出席すること。出席しない場合は、教職課程履修に関する支援を受けることができない。

② 教育学部教育学科で取得できる免許状の種類・教科

教育学部	教育学科	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状(英語)
------	------	--

③ 法律に定められている規定

教員免許状を取得するためには、「教育職員免許法第5条別表第1」・「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定められている科目・単位数とそれぞれの免許状に対応する必要科目を履修しなければならない。必要とする科目・単位数は別表を参照すること。

「教育職員免許法第5条別表第1」に定められている規定

免許状の種類	基礎資格	大学において修得することを必要とする 最低単位数
		教科及び教職に関する科目
幼稚園教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	51
小学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること。	59
中学校教諭一種免許状(英語)	学士の学位を有すること。	59

「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定められている規定

区分	該当科目	単位数	備考
日本国憲法	日本国憲法	②	○付数字は必修科目
体育	体育理論	①	
	体育実技	①	
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	②	
	英語Ⅱ	②	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	コンピュータ基礎演習	②	

修得すべき科目と単位数

- ◇幼稚園教諭一種 → 別表Ⅰ
- ◇小学校教諭一種 → 別表Ⅱ
- ◇中学校教諭一種 → 別表Ⅲ

④ 介護等体験

小学校および中学校の教員免許状の取得を希望する学生は、「教育職員免許法の特例等に関する法律」(平成9年法律第90号)通称「介護等体験特例法」に基づき、介護等体験(特別支援学校2日間、社会福祉施設5日間の合計7日間)を行わなくてはならない。

介護等体験は、教員をめざす学生が、障害者や高齢者との関わりを通じて、個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることを目的として実施する。終了すれば教員免許状申請時に必要な「介護等体験証明書」が発行される。この目的を達成するために、2年次に実施される「教職ガイダンスⅠ」で説明・指示を行う。必ず出席すること。

体験希望者は、社会福祉施設に対する費用を別途払うこと。(2025年度は7,500円)

⑤ 教育実習

学部の教員養成課程の目的である「人間としてふさわしい言動や態度を心がけ、高度の良識と豊かな教養を身につけるよう努力すること」の基、授業態度、関係科目修得状況など、実習生としてふさわしい学生に限り履修を認める。教育実習の詳細については、3年次に実施される「教職ガイダンスⅡ」で説明・指示を行う。必ず出席すること。

○履修状況

◇3年次「教育実習Ⅰ(幼)」

③に示されている科目のうち、3年次前期までに配当されている必修科目の単位をすべて履修した学生

◇4年次「教育実習Ⅱ(幼)」、「教育実習(幼・小)」、「教育実習(小・中)」

③に示されている科目のうち、3年次までに配当されている必修科目の単位をすべて履修した学生

○履修成績

教育実習に係る手続きは、実習の1年前から始まる。原則として、GPA2.0以上、かつ、③に示されている科目のうち2年次までに配当されている必修科目の単位をすべて修得した学生に限り、教育実習の手続きを行うことを認める。

別表 I 幼稚園教諭一種の場合

<領域及び保育内容の指導法に関する科目>

○領域に関する専門的事項

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
健康	幼児と健康	②	○付数字は必修科目
人間関係	幼児と人間関係	②	
環境	幼児と環境	②	
言葉	幼児と言葉	②	
表現	幼児と表現	②	

○保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)

科目区分	授業科目	単位数	備考
保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容総論	①	○付数字は必修科目
	保育内容指導法(健康)	①	
	保育内容指導法(人間関係)	①	
	保育内容指導法(環境)	①	
	保育内容指導法(言葉)	①	
	保育内容指導法(表現)	①	

<大学が独自に設定する科目>

授業科目	単位数	備考
保育者論	2	○付数字は必修科目
保育原理	2	
保育課程論	2	※必修 2 科目 4 単位+選択科目 10 単位以上を修得
幼児・児童文化	1	
表現演習 I	1	
表現演習 II	1	
体育 II (リズムダンス)	1	
国際理解教育概論	②	
ICT 活用教育概論	②	
障がい児保育	2	

<教育の基礎的理解に関する科目等>

科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	○付数字は必修科目
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育経営概論	②	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	②	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	②	
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む)	
幼児理解の理論及び方法		幼児理解と教育相談	②	
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法				
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(幼・小)	4	「教育実習(幼・小)」及び「教育実習指導(幼・小)」もしくは「教育実習 I (幼)」 「教育実習 II (幼)」 「教育実習指導 I (幼)」 「教育実習指導 II (幼)」 を選択必修
		教育実習指導(幼・小)	1	
		教育実習 I (幼)	2	
		教育実習 II (幼)	2	
		教育実習指導 I (幼)	1	
		教育実習指導 II (幼)	1	
	学校体験活動	学校インターンシップ	2	
教職実践演習	保育・教職実践演習(幼)	2	これら 2 科目から 1 科目を選択必修	
	教職実践演習(幼・小・中)	2		

※教育学部教育学科の卒業要件及び履修方法については、教育課程表に示す通りとする。

別表Ⅱ 小学校教諭一種の場合

<教科及び教科の指導法に関する科目>

○教科に関する専門的事項

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
国語(書写を含む。)	国語(書写含む)	②	○付数字は必修科目
社会	社会	②	
算数	算数	②	
理科	理科	②	
生活	生活	②	
音楽	音楽基礎	②	
図画工作	図画工作	②	
家庭	家庭	②	
体育	体育Ⅰ 体育Ⅱ(リズムダンス)	② 1	
外国語	小学校英語	②	

○各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
国語(書写を含む。)	初等教科教育法(国語)	②	○付数字は必修科目
社会	初等教科教育法(社会)	②	
算数	初等教科教育法(算数)	②	
理科	初等教科教育法(理科)	②	
生活	初等教科教育法(生活)	②	
音楽	初等教科教育法(音楽)	②	
図画工作	初等教科教育法(図画工作)	②	
家庭	初等教科教育法(家庭)	②	
体育	初等教科教育法(体育)	②	
外国語	初等教科教育法(英語)	②	

<大学が独自に設定する科目>

授業科目	単位数	備考
国際理解教育概論	②	○付数字は必修科目
ICT 活用教育概論	②	
デジタル教材開発	2	
「チーム学校」と学校組織マネジメント	②	
障がい児教育	2	

<教育の基礎的理解に関する科目等>

科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	○付数字は必修科目	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	②		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育経営概論	②		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	②		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	②		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法		②
		総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法		②
		特別活動の指導法	特別活動の理論と実践		②
教育の方法及び技術		教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む)	②		
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法					
生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	②		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	②			
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(幼・小)	4	「教育実習(幼・小)」及び「教育実習指導(幼・小)」もしくは、「教育実習(小・中)」及び「教育実習指導(小・中)」もしくは、「教育実習 A」及び「教育実習指導(小・中)」を選択必修 「教育実習 A」を履修する場合は、「学校インターンシップ」を併せて履修すること	
		教育実習指導(幼・小)	1		
		教育実習(小・中)	4		
		教育実習 A	2		
	教育実習指導(小・中)	1			
	学校体験活動	学校インターンシップ	2		
	教職実践演習	教職実践演習(幼・小・中)	②		

※教育学部教育学科の卒業要件及び履修方法については、教育課程表に示す通りとする。

別表Ⅲ 中学校教諭一種(英語)の場合

<教科及び教科の指導法に関する科目>

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
英語学	英語学概論	②	○付数字は必修科目
	英語文法論	②	
	英語文法演習	2	
	言語習得研究	2	
英語文学	英米文学概論	②	
	英米文学史	2	
	英米文学講読	2	
	英米文学演習	2	
	海外英語教材比較研究	2	
英語コミュニケーション	英語コミュニケーションⅠ	②	
	英語コミュニケーションⅡ	②	
	英語表現Ⅰ	②	
	英語表現Ⅱ	②	
	英語プレゼンテーション	②	
	English Writing	2	
異文化理解	多文化理解概論	②	
	文化比較論	2	
	グローバル対話論	②	
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法Ⅰ	④	
	英語科教育法Ⅱ	④	

<大学が独自に設定する科目>

授業科目	単位数	備考
国際理解教育概論	②	○付数字は必修科目
ICT活用教育概論	②	
デジタル教材開発	2	
「チーム学校」と学校組織マネジメント	②	
障がい児教育	2	

<教育の基礎的理解に関する科目等>

科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	○付数字は必修科目
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育経営概論	②	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	②	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	②	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	②	
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	②	
	特別活動の指導法	特別活動の理論と実践	②	
	教育の方法及び技術	教育方法・技術論(情報通信技術の活用含む)	②	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	②	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	②		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習(小・中)	4	「教育実習(小・中)」及び「教育実習指導(小・中)」もしくは、「教育実習A」及び「教育実習指導(小・中)」を選択必修 「教育実習A」を履修する場合は、「学校インターンシップ」を併せて履修すること
		教育実習A	2	
		教育実習指導(小・中)	1	
	学校体験活動	学校インターンシップ	2	
	教職実践演習	教職実践演習(幼・小・中)	②	

※教育学部教育学科の卒業要件及び履修方法については、教育課程表に示す通りとする。